

地域防災Newsとは

名古屋市の防災対策に関して、地域と本市との橋渡し役をお願いしている災害対策委員（区政協力委員が兼務）をはじめ地域の皆様に、防災に関する情報をこのNewsで定期的にお届けいたします。



「まさか」の前に
「もしも」の準備を

水害への「備え」できていますか？ マイ・タイムラインで事前に避難行動を確認しよう！

本市では、命を守るために知ってほしい情報や、災害時に身を守るための行動、被災した時の心得などを掲載した「**防災ガイドブック**」、また台風などの接近による大雨や地震などのときに「いつ」「誰が」「どのように行動するか」を時間の流れに沿って考えておく「**わが家のマイ・タイムライン**」を作成・公表しております。

防災ガイドブックに掲載している「マイ・タイムラインの作り方」をご参照いただきながら、「**わが家のマイ・タイムライン**」を活用し、「いつ」「誰が」「どのように行動するか」など自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に整理し、命を守る避難行動について考えてみましょう。

自分や大切な家族を守るために、いつ起こるかわからない災害に対し、安全・安心な対応ができるよう、日ごろから備えておきましょう。

詳しくはこちら >>>



警戒レベル	避難情報	避難の参考に する情報	わが家の避難行動 いつ、何をするかを考え、書き込んでおきましょう	該当する ものに☑
1 今後気象状況 悪化のおそれ		大雨、河川、高潮、土砂災害	☐ 防災グッズや避難の服装を再確認する ☐ テレビやインターネットで天気予報を確認する ☐ ハザードマップで、避難所や避難ルートを再確認する ☐ 家族の今後の予定を確認する ☐ 鉢植や物干しなど飛ばされそうなものを家の中に入れる	
2 気象状況悪化		大雨、洪水注意情報、氾濫注意情報、高潮注意情報	☐ 動きやすい服に着替える ☐ テレビやインターネットで雨雲レーダーや川の水位を確認 ☐ 携帯電話を充電する	
3 災害あり	高齢者等避難	大雨、洪水警戒情報、氾濫警戒情報、高潮警戒情報	☐ 早めに避難開始！ ☐ キックルを確認する ☐ 家族や親戚に避難先を連絡する	
4 災害の恐れあり	避難指示	氾濫危険情報、高潮警報・高潮特別警報、土砂災害警戒情報	☐ 避難開始！ ☐ 安全な場所へ移動	自宅にとどまることができない場合 ● 洪水・内水氾濫 避難先 ● 高潮 避難先
5 災害発生 または切迫	緊急安全確保	大雨特別警戒情報、氾濫発生情報	☐ 身の安全を確保する	① 避難できない場合には、緊急的に安全を確保できる場所やより高いところへ移動しましょう！

災害発生初動期の 地域の防災活動を確認しよう！

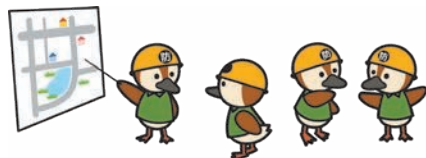
災害対策委員等地域の防災リーダーの災害時における、役割等をまとめた「**名古屋市地域の防災リーダー初動対応シート**」については、これまで地震災害のみの対応例を掲載していましたが、令和6年度に風水害時の対応例についても掲載しました。

地域における災害対応の検討や、防災訓練での参考資料等としてご活用ください。

名古屋市
地域の防災リーダー
初動対応シート

標準版

詳しくはこちら



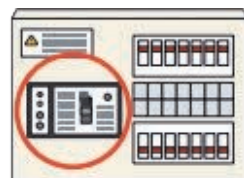
6月11日から

感震ブレーカー設置助成を開始します！

感震ブレーカーとは、地震の大きな揺れを感知して電気を自動で遮断する器具で、地震の際の電気火災の発生を抑制する効果があります。

※一般的なアンペアブレーカーや漏電ブレーカーとは異なります

分電盤タイプ（内蔵型）



「分電盤タイプ」の感震ブレーカーの設置費用を一部助成します。

詳細は、市公式ウェブサイトまたは以下の窓口にお問い合わせください。

問い合わせ先

感震ブレーカー受付窓口（株式会社アイヴィジット内※）

TEL：0120-343-009

※名古屋市が運営を委託している事業者です。

詳しくはこちら



災害ボランティアセンター（災害VC）をご存じですか？

災害VCとは

災害時には、泥かきや床下の清掃を行うなど、ボランティアが地域に入って困りごとを解決します。多くの方の支援につなげるため、地域の防災リーダーの皆様に届く被災者からのニーズが災害VCに集まるよう、ご協力をよろしくお願いします。

災害VCの活用方法

被災者の様々な困りごと（ニーズ）を解決するため、全国から集まるボランティアを被災者の元へ派遣するつなぎ役をする場所で、大規模災害発生後に設置されます。

詳しくはこちら



（問合先）スポーツ市民局市民活動推進センター

